

【オリコンサル 瀬戸酒造店 海外コンテストで受賞多数 地域ブランディングの一步に】

瀬戸酒造店

海外コンテストで受賞多数

地域ブランディングの一步に

オリコンサル

オリエンタルコンサル
タンツの子会社である瀬戸酒造店(神奈川県開成町)がこの一年で醸造した日本酒が、海外の日本酒コンテストで受賞多数の快挙となった。

4月にロンドンで審査が行われたワイン・コンペティション、インターナショナルワインチャレンジのSAKE部門で、「セトイチいざ」が純米吟醸酒の部でシルバーム

ダルを受賞。「セトイチ

かくかくしかじか」と「セトイチ風が吹いたら」が純米吟醸酒の部と純米酒の部でそれぞれ大会推奨酒に選ばれた。

5月には、パリで審査が行われたKuraMastereで「セトイチ音



セトイチいざ

も無く」が純米酒の部でプラチナ賞、「セトイチ手の鳴る方へ」がゴールド賞を受賞した。また「セトイチ音も無く」は純米酒の部のトップ5に選ばれ、7月9日の授賞式で発表されるプレジデント賞にノミネートされている。なお、KuraMastereは、フランスで17年から開催されている、フランス人によるフランス人のためのフランスの地で行う、日本酒のコンクール。

オリエンタルコンサルタンツは、開成町で展開している地方創生事業において、資源であるおいしい水を活かした日本酒づくりに取り組ん

でいる。瀬戸酒造店の日本酒が世界で認知されることは、地域のブランディングの第一歩であるとともに、シテイセールズ、さらに高まるインバウンド需要に向けて意義があるとされている。

開成町は今年度、地域農産物の販売・加工ができる地域交流拠点の建設などを予定している。同社は今後も、開成町の地域活性化のために豊かな田園風景を活かした農泊体験やグリーンインフラプロジェクトを推進し、地域の魅力を最大限に活かした提案を続けていく。